

日本精蠟株式会社

2025年12月期 決算説明資料

2026年2月16日

東証スタンダード 5010



日本精蠟株式会社

目次

■ 会社概要	P.02
■ 2025年12月期 業績概要	P.06
■ 2026年12月期 業績予想	P.13

会社概要

スペシャリティ・ワックスのグローバルリーダーとして いつも新たな価値をお客様にお届けします。

商号	日本精蠟株式会社
代表取締役社長	瀧本 丈平
設立	1951年2月10日（創業 1929年2月10日）
本社所在地	東京都中央区京橋2丁目5番18号 京橋創生館10階
資本金	1億円

従業員数	222名（単体） 272名（連結）（2025年12月末現在）
グループ会社	Nippon Seiro (Thailand) Co., Ltd. テクノワックス株式会社 周和産業株式会社 日精興産株式会社

事業内容

日本でただ1つ、ワックス＝蠟を専門に造っている会社です。今後も高い品質と技術によるスペシャリティーワックスのグローバルリーダーとして、お客様に新しい価値をお届けします。

製品用途

● タイヤ向けワックス（ゴム用途）

ゴム製品にワックスを練り込み、表面に薄膜をつくることで、空気中のオゾンによるゴムの劣化・ひび割れを防止します。

● トナー向けワックス（インキ用途）

トナーにワックスを混ぜることで、トナーが紙に印刷される際に、にじみを防止します。

● 蠟燭

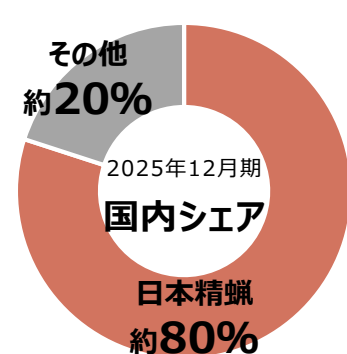
古くから神仏用として用いられ、近年は装飾用キャンドルとして、結婚式の演出やアロマキャンドルとして親しまれています。

● 接着剤用ワックス

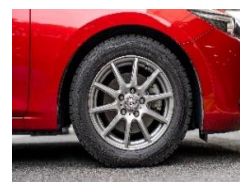
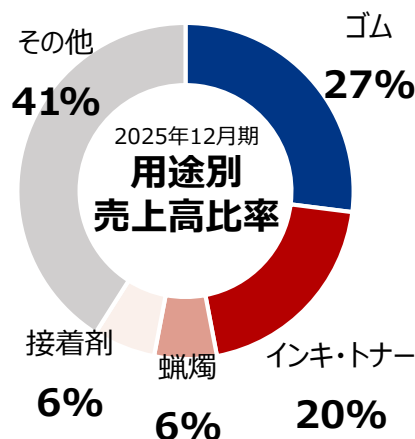
接着性樹脂に混ぜて、流動性を持たせます。

● その他用途

食品、農林、化粧品など、幅広い用途に用いられています。



※日本ワックス工業会加盟会社に占める割合



タイヤ



プリンタートナー



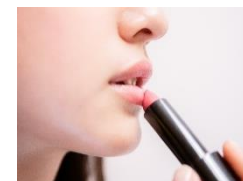
蠟燭



接着剤



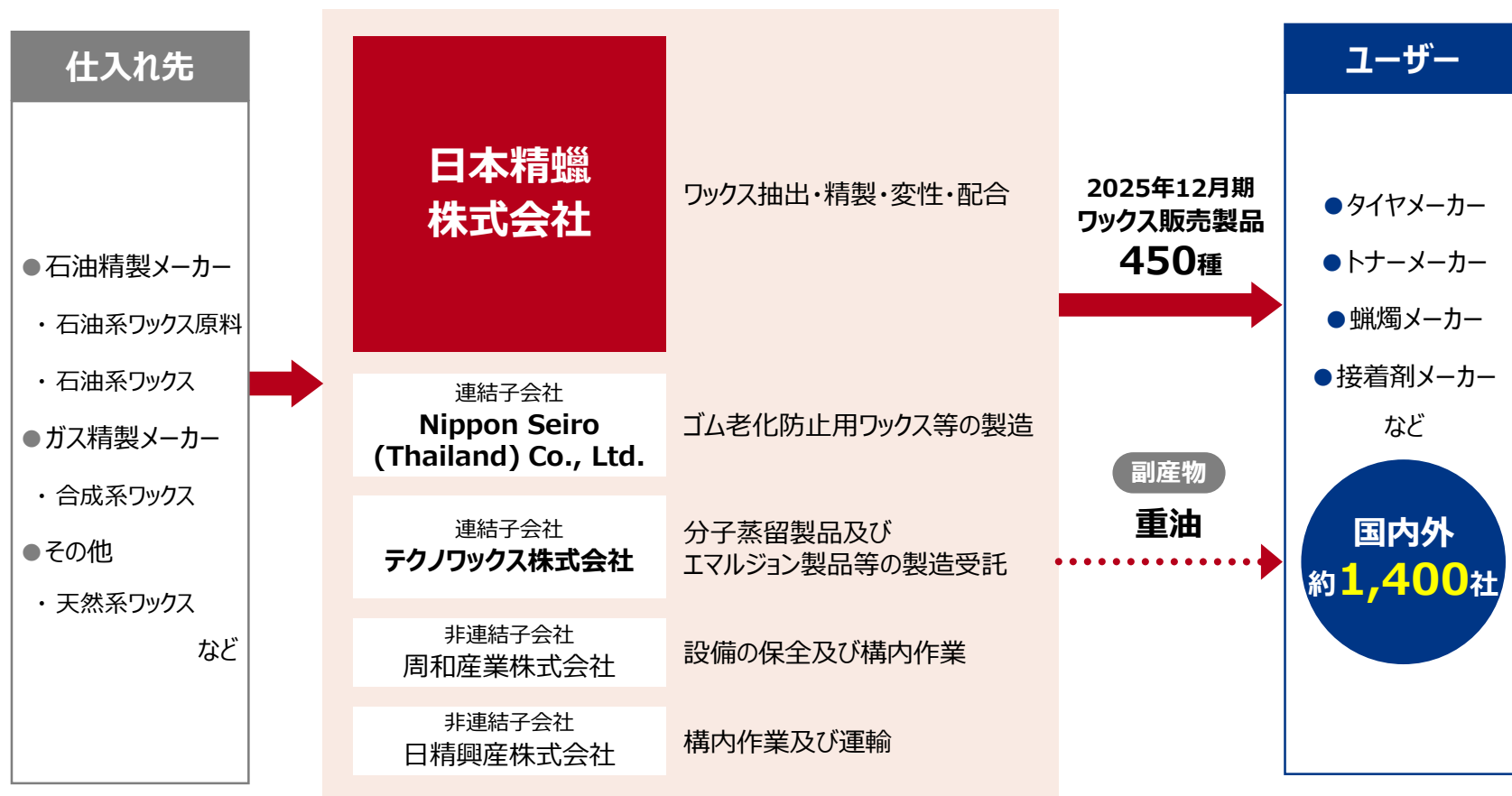
食品



化粧品

事業系統図

当社グループは主に石油精製メーカーからワックス原料を購入し、分離・精製・化学反応・配合をすることで、顧客(ユーザー)の求める性能・品質を持つワックス製品を製造し、様々な形状・形態で幅広い業界の顧客に当社製品をお使い頂いております。



2025年12月期 業績概要

2025年12月期通期業績サマリー

- 2025年12月期は財務体質の健全化を目的として、棚卸資産(在庫)の削減を進めることで営業キャッシュ・フローは前期より良化するものの、利益は減少する業績予想としておりました。
- 上期の販売が低調であったことにより、利益は当初予想を下回りましたが、在庫削減は計画通りに進み、キャッシュ・フローは予想を上回りました。

(単位：百万円)	2023年 12月期	2024年 12月期	2025年12月期		
	通期実績	通期実績	通期実績	前期比	通期予想※
売上高	21,704	22,045	19,776	▲10.3%	21,300
国内ワックス	11,583	13,652	13,217	▲3.2%	14,100
輸出ワックス	6,445	6,541	5,509	▲15.8%	5,700
重油	3,498	1,703	935	▲45.1%	1,350
その他	177	147	113	▲23.0%	150
営業利益	▲552	2,245	1,173	▲47.8%	1,400
経常利益	▲785	1,682	680	▲59.5%	860
税引前当期純利益	▲1,344	1,658	620	▲62.6%	830
親会社株主に帰属する 当期純利益	▲1,221	1,776	697	▲60.7%	790
外部環境指標 Brent	\$83/bbl	\$81/bbl	\$69/bbl		\$85/bbl
外部環境指標 Gas Oil	\$104/bbl	\$96/bbl	\$88/bbl		\$100/bbl
外部環境指標 為替	141 JPY/USD	151 JPY/USD	150 JPY/USD		145 JPY/USD
営業キャッシュ・フロー	1,410	2,943	3,686	+25.2%	3,568
フリー・キャッシュ・フロー	915	2,793	3,090	+10.6%	2,965

※ 通期予想は、2025年2月14日開示の数値です。

販売の概況

ワックス

主に上期におけるトランプ関税などによる世界経済への先行き不透明感を背景とした需要減退の影響により、下期は回復基調となったものの、通期では国内・輸出ともに販売数量は減少し、販売単価は物流費等の高騰に伴う価格改定と高付加価値品販売への集中により上昇しましたが、販売金額は減少しました。

■ 販売実績	2023年12月期			2024年12月期			2025年12月期			前期比		
	数量 [ton]	単価 [円/kg]	金額 [百万円]	数量 [ton]	単価 [円/kg]	金額 [百万円]	数量 [ton]	単価 [円/kg]	金額 [百万円]	数量 [ton]	単価 [円/kg]	金額 [百万円]
国内	26,365	439	11,583	25,732	531	13,652	24,622	536	13,217	▲1,109	+6	▲435
輸出	20,891	309	6,445	18,310	357	6,541	15,345	359	5,509	▲2,965	+1	▲1,031
ワックス計	47,257	382	18,029	44,043	458	20,194	39,968	468	18,727	▲4,074	+10	▲1,466
										▲9%	+2%	

重油

ワックス収率の向上と在庫削減に伴う生産数量の減少によって、逆ザヤ取引である重油の生産数量・販売数量は減少しました。

■ 販売実績	2023年12月期			2024年12月期			2025年12月期			前期比		
	数量 [KL]	単価 [円/KL]	金額 [百万円]	数量 [KL]	単価 [円/KL]	金額 [百万円]	数量 [KL]	単価 [円/KL]	金額 [百万円]	数量 [KL]	単価 [円/KL]	金額 [百万円]
重油	38,352	91,212	3,498	17,920	95,076	1,703	11,400	82,061	935	▲6,520	▲13,015	▲768
										▲36%		

損益計算書（要約）

- 資本性劣後ローン（当初借入額30億円）のうち元本6億円相当額を5月21日、元本9億円相当額を10月31日に期限前弁済したことにより、支払金利の負担を軽減しました。
- 2026年からの工場リニューアル計画に伴い、旧設備の減損処理を実施しました。

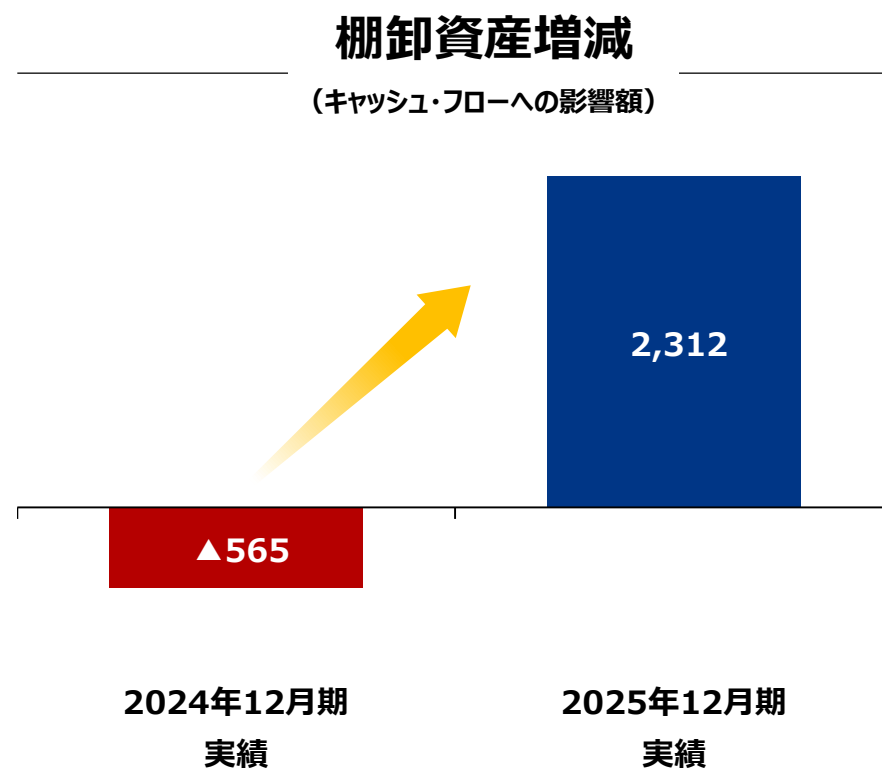
(単位：百万円)	2023年 12月期 実績	2024年 12月期 実績	2025年 12月期 実績	前期比		主な要因
				増減額	増減率	
売上高	21,704	22,045	19,776	▲2,269	▲10.3%	在庫削減に伴う固定費負担増を含む
売上原価	19,743	17,470	16,226	▲1,244	▲7.1%	
売上総利益	1,960	4,575	3,550	▲1,024	▲22.4%	
販売費及び一般管理費	2,513	2,329	2,377	+48	+2.1%	
営業利益	▲552	2,245	1,173	▲1,072	▲47.8%	資本性劣後ローン※期限前弁済による支払金利減
営業外収益合計	123	79	110	+30		
営業外費用合計	356	642	602	▲40		
経常利益	▲785	1,682	680	▲1,001	▲59.5%	工場リニューアル計画に伴う減損
特別損益	▲558	▲23	▲60	▲36		
税引前当期純利益	▲1,344	1,658	620	▲1,038	▲62.6%	
法人税等合計	▲123	▲117	▲77	+40		
親会社株主に帰属する当期純利益	▲1,221	1,776	697	▲1,079	▲60.7%	

※ 23'10月 財務体質健全化のためにジャパン・インダストリアル・ソリューションズ第参号投資事業有限責任組合から借入

キャッシュ・フロー計算書（要約）

在庫削減を計画通りに進めたことで棚卸資産は大きく減少し、キャッシュ・フローは前期から増加するとした予想を更に上回りました。

	2024年12月期 実績	2025年12月期 予想	2025年12月期 実績
(単位：百万円)			
営業キャッシュ・フロー	2,943	3,568	3,686
投資キャッシュ・フロー	▲149	▲603	▲596
フリー・キャッシュ・フロー	2,793	2,965	3,090



貸借対照表（要約）

- 在庫削減を進め棚卸資産が減少しました。
- 当期に資本性劣後ローン（当初借入額30億円）のうち元本15億円相当額を期限前弁済したことにより、負債が減少しました。

(単位：百万円)	2023年 12月期 実績	2024年 12月期 実績	2025年 12月期 実績	前期比		主な要因
				増減額	増減率	
資産合計	30,001	29,725	27,279	▲2,446	▲8.2%	棚卸資産の減少を図り、キャッシュ・フローの改善に努めた結果、現預金残高が増加
流動資産	14,291	14,669	12,513	▲2,156	▲14.7%	
現金及び預金	1,835	2,297	2,828	+531	+23.1%	
受取手形・売掛金	3,178	2,675	2,332	▲343	▲12.8%	
棚卸資産合計	8,880	9,526	7,229	▲2,296	▲24.1%	
その他流動資産	397	171	122	▲48	▲28.5%	
固定資産	15,709	15,055	14,766	▲289	▲1.9%	
有形固定資産	14,960	14,231	13,866	▲365	▲2.6%	
無形固定資産	101	84	79	▲4	▲5.0%	
投資その他の資産	646	739	820	+80	+10.9%	資本性劣後ローン※期限前弁済による固定負債減少
負債合計	26,216	24,051	20,901	▲3,150	▲13.1%	
流動負債	18,157	15,594	13,860	▲1,733	▲11.1%	
固定負債	8,058	8,457	7,040	▲1,416	▲16.8%	
純資産合計	3,784	5,673	6,378	+704	+12.4%	
株主資本	▲1,776	▲3	693	+697	-%	
負債純資産合計	30,001	29,725	27,279	▲2,446	▲8.2%	

※ 23'10月 財務体質健全化のためにジャパン・インダストリアル・ソリューションズ第参号投資事業有限責任組合から借入

2025年12月期の主要な取り組み

当期を未来へ繋がる足場固め「基盤強化期」と位置付け、以下の項目を実施しました。

新規高付加価値ワックスへの集中

- 顧客ニーズ・マーケット情報を確実に拾い上げ、新製品、新用途の開発を目指します。

当期実績：撥水加工に適したワックスなどを始めとした新規製品と原価低減製品の上市

ライスワックスに関する特許出願、サステナブルマテリアル展への出展

工場の強靱化に向けた投資

- 成長市場へ向けての新規製造設備投資、省力化・省人化投資、安全・安定操業投資を検討します。

当期実績：徳山工場における設備リニューアルの素案具体化(老朽化設備の解体実施を決定、跡地には新設備を導入予定)

- 2024年12月期に開放検査周期の4年認定を取得したことから、2025年12月期の定修では4年連続稼働に向けた投資・補修を実施します。これにより2025年12月期の修繕費は増額となりますが、来期以降の単年度の定修引当金の金額は減少します。

当期実績：定修を計画通り実施し、4年連続稼働の準備完了

その他

- サプライチェーン(原料調達～製品販売)のオペレーションの最適化を目指します。

当期実績：製品別在庫基準の見直しを行い、在庫水準の更なる最適化を推進

- 人事制度改定（処遇改善等）などにより、社内外に魅力ある会社作りに努めます。

当期実績：2025年4月に初任給の引き上げを含む賃金制度の見直し等を実施

奨学金返還支援制度の導入、従業員エンゲージメントサーベイの導入

2026年12月期 業績予想

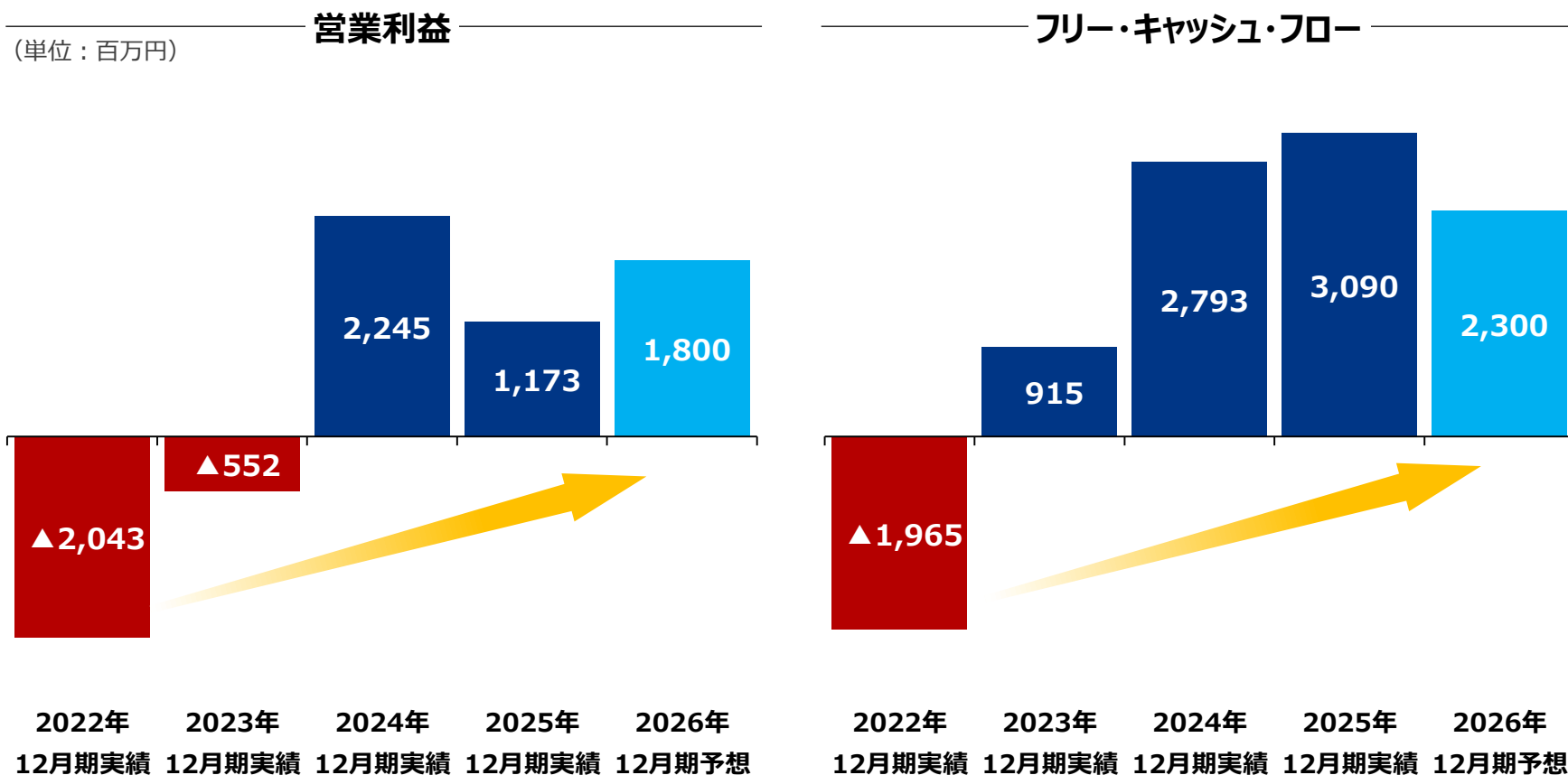
2026年12月期業績予想①

- ・ 売上高は拡販等により前期比で増加する見通しです。
- ・ 営業利益は、在庫削減の取り組みが一段落したことによる売上原価の改善、2025年に実施した価格改定の通年寄与により、前期比53%増加の18億円の見通しです。
- ・ 徳山工場リニューアルのための老朽化設備の解体・撤去費用を特別損失として4億円計上いたしますが、当期純利益は前期比15%増加の8億円の見通しです。

(単位：百万円)	2025年12月期	2026年12月期	
	実績	予想	前期比
売上高	19,776	21,100	+6.7%
国内ワックス	13,217	13,000	▲1.6%
輸出ワックス	5,509	6,600	+19.8%
その他（重油含む）	1,049	1,500	+43.0%
営業利益	1,173	1,800	+53.4%
経常利益	680	1,300	+91.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	697	800	+14.7%
一株当たり配当金	0.0円	-	-
外部環境指標 Brent	\$69/bbl	\$70/bbl	
外部環境指標 Gas Oil	\$88/bbl	\$90/bbl	
外部環境指標 為替	150 JPY/USD	155 JPY/USD	
営業キャッシュ・フロー	3,686	3,000	▲18.6%
フリー・キャッシュ・フロー	3,090	2,300	▲25.6%

2026年12月期業績予想②

中期経営計画の構造改革を進めた結果、原材料代等のコスト上昇にも関わらず、利益とキャッシュ・フローの水準は改善しています。



販売方針

ワックス

- 国内販売は、高付加価値製品への集中や2025年に実施した価格改定により単価は上昇する一方で、一部用途での需要減や海外品との競争激化もあり、販売数量は若干減少の見通しです。
- 輸販売は、北米・中国マーケットを中心として、ニーズやマーケット動向に対応した拡販を行います。

■販売予想

	2025年12月期 実績			2026年12月期 予想			前期比		
	数量 [ton]	単価 [円/kg]	金額 [百万円]	数量 [ton]	単価 [円/kg]	金額 [百万円]	数量 [ton]	単価 [円/kg]	金額 [百万円]
国内	24,622	536	13,217	23,888	544	13,000	▲734	+8	▲217
輸出	15,345	359	5,509	20,073	328	6,600	+4,728	▲31	+1,091
ワックス計	39,968	468	18,727	43,961	445	19,600	+3,993	▲23	+873

重油

ワックスの生産数量増加に伴い、重油の販売数量も前期比5,600KL増の17,000KLとなる見通しです。

2026年12月期の主要な取り組み

前期に続き、未来へ繋がる足場固め「基盤強化期」と位置付け、以下の項目を実施します。

新規高付加価値ワックスへの集中

- 研究開発費を増額させ、外部機関との協業も行い、新規製品の開発を加速させます。
- ライスワックスのサンプルワークを開始し、インキ・塗料、化粧品用途等での展開を目指します。
- 加工性に優れ、環境に優しい水系ワックスエマルジョンについては、インキ・塗料、建材、加工紙用途等を中心に拡販を図ります。

資本性劣後ローンの全額返済

- 当初借入額30億円のうち元本15億円相当額は前期に期限前弁済を実施しましたが、残額についても期中での早期返済を目指し、財務体質の健全化に努めます。

基幹工場のリニューアル

- 徳山工場老朽化設備の解体・撤去を実施します。跡地には新製品の製造設備や、生産効率・品質の向上に寄与する設備の導入を予定しています。

配当について

2025年12月期の配当につきましては、会社法上461条に定める分配可能額が無いことから、誠に遺憾ながら無配とさせていただきますことに、株主の皆様のご理解を賜りたく存じます。

2026年12月期の配当につきましては、業績予想を上回る利益を達成し、配当を実施することを目指しますが、現時点では未定とさせていただきます。

当社といたしましては、株主の皆様への利益還元を重要課題として位置付けており、本年半ばを目途に策定予定の新たな中期経営計画の中で、株主還元に係る方針についてもお示しする予定です。

ディスクレーマー

本資料に記載された意見や予測などは資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。

さまざまな要因により実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

● 当資料に関するお問い合わせ

日本精蠟株式会社
経営企画課

Mail : ir-otoiawase@seiro.co.jp